

令和 8 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	宮沢吉浩
全体計画					経費区分	部局長裁量枠			内線	3523		
事務事業名		4229 公園管理事業										
所 属		200200 まちづくり推進部・まちづくり課										
施 策		05032600 良好な景観づくりの推進										
予 算		01 一般会計										
科 目		080403 土木費・都市計画費・公園事業費										
事 業		010000 公園管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
公共施設としての安全性と利便性を確保し、親しまれる公園づくりを推進する。						市民の安らぎと憩いの場として、魅力ある公園・緑地づくりを行う。 老若男女を問わず、誰もが公園等を安心・安全に利用できるように、適切な維持管理と遊具等の計画的な点検、修繕及び更新・新設を行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 7年度 実績	令和 8年度 予定
職員による毎月の日常点検、専門業者による年1回の遊具点検及び砂場清掃を実施した。また、劣化等による修繕・更新等を実施し、安全対策を行った。公園内の支障木剪定や草刈り、公園の清掃（トイレ含む）等により、誰もが安心して利用できる公園とした。	職員による毎月の日常点検、専門業者による年1回の遊具点検及び砂場清掃を実施予定。また、劣化等による修繕・更新等を実施し、安全対策を行う。公園内の支障木剪定や草刈り、公園の清掃（トイレ含む）等により、誰もが安心して利用できる公園とする。
令和 9年度 予定	令和10年度 予定
令和11年度 予定	令和12年度 予定

指 標 名							
公園遊具等の修繕・撤去・更新数							
算 式						単位	数
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
目 標 値	目 標	10	10	10	10	10	
	実 績						
指標選定の理由	安心・安全な公園とするため、職員による毎月の日常点検、専門業者による遊具定期点検を実施し、劣化した遊具やベンチ等を修繕・撤去・更新する。						
最終年度目標の根拠	年1回の専門業者による遊具定期点検により、総合判定基準の低い遊具等を優先的に修繕・撤去・更新していく。						
指 標 名							
算 式						単位	
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
目 標 値	目 標						
	実 績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指 標 名							
算 式						単位	
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
目 標 値	目 標						
	実 績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和 7年度 決 算	令和 8年度 予 算
事業費		5,940	5,569
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	83	82
一般財源		5,857	5,487
人員数 (人)	正規職員	0.3	3.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	1.2	0.7
人 員 コスト	正規職員	2,160.9	21,609.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	2,822.4	1,646.4
	計	4,983.3	23,255.4
市民一人当たりの経費		0.2	0.6
総額		10,923.3	28,824.4

(単位：千円)

令和 7年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,309	公園の光熱水費428、遊具・トイレ等の修繕742、消耗品139
12節 委託費	3,657	公園遊具の定期点検・砂場の清掃960、公園の清掃324、整枝剪定等の委託1597、公園管理シルバー776
14節 工事請負費	621	公園遊具等撤去・更新621
18節 負担金補助及び交付金	24	労働安全衛生特別教育受講料24
その他	329	旅費3、手数料10、公園土地借上料313、原材料費3

(単位：千円)

令和 8年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,440	公園の光熱水費425、修繕900、消耗品115
12節 委託費	3,676	公園遊具の定期点検・砂場の清掃989、公園の清掃327、整枝剪定等の委託1470、公園管理シルバー890
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	28	公園緑地講習会参加費28
その他	425	旅費11、手数料87、公園土地借上料313、原材料費14

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	必要不可欠
評価コメント	市民の憩いの場である公園の適切な施設整備、維持管理は必要である。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	有効
評価コメント	老若男女問わず、利用者が安全性、利便性を確保して親しまれるよう適切な維持管理に努めている。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	遊具やベンチ等の簡易的な修繕、低木の剪定など、市職員で作業可能なものは対応しコスト削減に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

職員による毎月の点検のほか専門業者による年1回の遊具点検を実施し安全対策を図った。
また、定期的な支障木の剪定や草刈り、清掃（トイレ含む）等により公園の適切な管理に努めた。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
公園・緑地を維持するため、施設の計画的な点検とともに、必要な修繕及び更新を行う必要がある。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
安心・安全に利用ができるように適切な維持管理と遊具等の計画的な点検、修繕及び更新・新設を行う必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 8 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	宮沢吉浩
全体計画					経費区分	部局長裁量枠			内線	3523		
事務事業名		4230 花と緑のまちづくり事業										
所 属		200200 まちづくり推進部・まちづくり課										
施 策		05032600 良好な景観づくりの推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	080403 土木費・都市計画費・公園事業費										
	事業	020000 花と緑のまちづくり事業										
事業目的						事業概要・効果						
市民参加によって花を育てることで、感性ある人づくりが進められ、快適な生活環境と当市を訪れる方にとって、やさしさと魅力あふれる温かいまちとなるよう事業を行う。						市花壇等や、花苗援助事業及び道路沿いの花壇の整備・維持管理により、市民の心の潤いや快適な生活環境づくりを進め、あわせて観光客の皆さまに魅力あるまちとしてお迎えしている。 コンテナガーデン等作品展の開催、オープンガーデン事業の実施、ガーデンづくり講習会の開催によって、自主的に地域の花づくりや緑化運動に取り組める人材育成を図る。 かななちゃんによる広報活動、花と緑のまちづくり事業のSNS投稿ほかで事業のPRを行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 7年度 実績	令和 8年度 予定
市花壇等の整備・管理、花苗援助事業及びカンナ球根の配布、道路沿い花壇の整備・管理、コンテナガーデン等作品展の開催、オープンガーデン事業の実施、ガーデンづくり講習会の開催、かななちゃん着ぐるみ活用、花と緑のSNS投稿ほか	市花壇等の整備・管理、花苗援助事業及びカンナ球根の配布、道路沿い花壇の整備・管理、コンテナガーデン等作品展の開催、オープンガーデン事業の実施、ガーデンづくり講習会の開催、かななちゃん着ぐるみ活用、花と緑のSNS投稿ほか
令和 9年度 予定	令和10年度 予定
令和11年度 予定	令和12年度 予定

指標名	花苗援助団体数					
算式						単位 団体
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標	45				
	実績					
指標選定の理由	町なかの緑化推進のため、自主的に緑化・花づくりを行う団体を増やしたい。					
最終年度目標の根拠	援助団体数が減少傾向にあるため、現状維持を目標とした。					
指標名	信州須坂オープンガーデン参加庭園数					
算式						単位 庭数
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標	38				
	実績					
指標選定の理由	市民の皆さんが丹精込めて育てた庭を一般公開していただくことで、花や緑がもたらす楽しさや魅力を伝える交流の場となり、それぞれの家へ、町へと花が広がっていくことを期待し、庭園数の確保に努めたい。					
最終年度目標の根拠	平成24年度の58軒をピークに減少傾向にあるため、現状維持を目標とした。					
指標名						
算式						単位
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 7年度 決 算	令和 8年度 予 算
事業費		15,727	11,830
特 定 財 源	国庫支出金	1,332	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	61	61
一般財源		14,334	11,769
人員数 (人)	正規職員	0.3	0.3
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	1.4	0.9
人 員 コスト	正規職員	2,160.9	2,160.9
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	3,292.8	2,116.8
	計	5,453.7	4,277.7
市民一人当たりの経費		0.4	0.3
総額		21,180.7	16,107.7

(単位：千円)

令和 7年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	38	講師謝礼35、謝礼3
10節 需用費	3,340	花苗等消耗品他2509、燃料費197、食料費3、オープンガーデンマップ印刷費572、修繕料59
12節 委託費	39	花壇管理シルバー人材センター委託39
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	58	全日本花いっぱい連盟負担金8、日本花の会負担金50
その他	12,252	会計年度職員報酬・手当10,133、会計年度職員社会保険料1717、旅費237、役務費159(郵便料30、手数料111、保険料18)、公課費6

(単位：千円)

令和 8年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	48	講師謝礼45、謝礼3
10節 需用費	2,838	花苗等消耗品他2100、燃料費230、食糧費7、オープンガーデンマップ印刷費423、修繕費78
12節 委託費	231	花壇管理シルバー人材センター委託231
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	58	全日本花いっぱい連盟負担金8、日本花の会負担金50
その他	8,655	会計年度職員報酬・手当7084、会計年度職員社会保険料1227、旅費122、役務費215、公課費7

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	高い
評価コメント	花と緑のまちづくり推進委員会を設置し、会議において統一した方針を確認し、市として全庁的な取り組みを行っている。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	普通
評価コメント	花苗援助団体や地元区、企業等による植栽によって、道路沿いや公共施設などの花壇には彩り豊かに花が咲いている。 自主的なボランティア活動により花壇等を管理いただくことで、周辺の清掃活動や環境美化にも繋がっており、快適な生活環境と訪れる人にやさしく温かな魅力あるまちづくりに結びついている。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	コストの削減等を意識し、花苗援助団体等に宿根草（多年草）への変更等をお願いしている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

地域の区や地元企業、ボランティア団体等との継続的な協働の取り組みにより、道路沿いや公共施設等の花壇が適切に維持管理された。また、オープンガーデンは38庭園の参加がある。これらにより快適な生活環境と来訪者にやさしい、温かい魅力あるまちづくりに資することができた。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
市民参加により花苗支援事業やオープンガーデン事業が実施できた。花と緑で潤いのあるまちづくりは、生活環境や魅力の向上に繋がっている。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
花を育てることで、快適な生活環境とやさしさと魅力あふれる温かいまちとなるよう事業を行っている。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 8 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	山崎智美
全体計画					経費区分	部局長裁量枠			内線	245-1770		
事務事業名		4233 臥竜公園管理事業										
所 属		200200 まちづくり推進部・まちづくり課										
施 策		05032600 良好な景観づくりの推進										
予 算		01 一般会計										
科 目		080404 土木費・都市計画費・臥竜公園管理事務所費										
事 業		020000 臥竜公園管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
臥竜公園の維持管理と整備						市民の憩いの場としての都市公園整備を充実する。動物園と一体となった観光拠点としての誘客が図れる。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 7年度 実績	令和 8年度 予定
・桜樹勢回復(病害虫対策、固形肥料の施肥、土壌改良、整枝剪定) ・松保全(整枝剪定) ・緑地整備(除草等) ・竜ヶ池の水質改善(一部入替)	・桜樹勢回復(病害虫対策、固形肥料の施肥、土壌改良、整枝剪定) ・松保全(整枝剪定) ・緑地整備(除草等) ・竜ヶ池の水質改善(一部入替)
令和 9年度 予定	令和10年度 予定
令和11年度 予定	令和12年度 予定

指 標 名	須坂市動物園入園者数					
算 式	年間入園者数					単位 人
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標	120,000				
	実 績					
指標選定の理由	公園利用者だけを算出することは出来ないので動物園の来園者を指標にする。					
最終年度 目標の根拠	過去の実績を基に算定。					
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 7年度 決 算	令和 8年度 予 算
事業費		51,564	45,412
特 定 財 源	国庫支出金	2,978	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	2,016	4,206
一般財源		46,570	41,206
人員数 (人)	正規職員	0.6	0.6
	会計年度(フル)	1.1	1.1
	会計年度(パート)	4.5	4.5
人 員 コスト	正規職員	4,321.8	4,321.8
	会計年度(フル)	5,132.6	5,132.6
	会計年度(パート)	10,584.0	10,584.0
	計	20,038.4	20,038.4
市民一人当たりの経費		1.4	1.3
総額		71,602.4	65,450.4

(単位：千円)

令和 7年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	5,552	消耗品費1,808、燃料費403、食糧費14、印刷製本費204、光熱水費1,913、修繕料1,210
12節 委託費	12,819	保守点検委託料337、その他委託料12,196、シルバー人材センター委託286
14節 工事請負費	0	工事請負費0
18節 負担金補助及び交付金	6,246	みんなで支える里山整備743、臥竜公園フェスティバル負担金5,500、会議2
その他	26,947	報酬12,977、給料2,886、職員手当5,454、共済費3,668、旅費145、役務費315、使用料及び賃借料1,214、原材料費98、備品購入費186、公課費7

(単位：千円)

令和 8年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	5,133	消耗品費1,000、燃料費600、食糧費0、印刷製本費272、光熱水費2,161、修繕料1,100
12節 委託費	13,249	保守点検委託料359、その他委託料12,503、シルバー人材センター委託料387
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	466	みんなで支える里山整備372、水利組合90、出席負担金4
その他	26,564	報酬12,492、給料2,734、職員手当等5,581、共済費3,815、旅費159、役務費461、使用料及び賃借料1,157、原材料費150、備品購入費0、公課費15

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	必要不可欠
評価コメント	須坂市の観光中心拠点であり、市全体の知名度向上の役割を果たしている。 また、都市公園エリア（臥竜山、百々川緑地、望岳台公園）は地域のレクリエーションの場、憩いの場として機能している。 多くの利用者が安心安全かつ快適に利用するため維持管理は必須である。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	大変有効
評価コメント	年間11万人の集客、交流人口増員に結びついている。 市民にとって健康増進や福祉の場になっている。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	向上
評価コメント	・定期的な維持管理を継続することでコストの平準化で財政負担の分散。 ・森林譲与税の充当	

振り返り（決算年度の取組み課題）

交付金利用で実施していたイベント事業を地域に根付かせ、交付金利用が無くても継続的な開催を目指す。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
安全で快適な都市公園のため動物園と一体となって維持管理を継続していくことが重要。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
憩いの場としての公園整備をし動物園と一体となった観光拠点としての維持管理が重要。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 8 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	丸山孝幸
全体計画						経費区分	部局長裁量枠			内線	026-245-1770	
事務事業名		4234 動物園管理運営事業										
所 属		200200 まちづくり推進部・まちづくり課										
施 策		05032600 良好な景観づくりの推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	080404 土木費・都市計画費・臥竜公園管理事務所費										
	事業	030000 動物園管理運営事業										
事業目的						事業概要・効果						
来園者に親しまれるとともに市民の憩いの場となる動物園にする。						公益財団法人「日本動物園水族館協会」に加盟している動物園としての役割である「種の保存」「教育」「展示」について取り組むとともに、近年では動物福祉に対する考え、取り組みが重要となり、獣舎に動物が行動や興味を引くように環境を整たり、給餌方法を工夫し、動物のストレスを減らせるように職員が工夫を重ね、動物の展示方法の工夫する。 また、様々なイベントを実施し、動物園内でゆっくりとくつろげる空間づくりを行い、「いやし、ふれあい」を提供することで入園者増を図る。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 7年度 実績	令和 8年度 予定
入園者：114,798人	入園者：120,000人
令和 9年度 予定	令和10年度 予定
令和11年度 予定	令和12年度 予定

指標名	須坂市動物園入園者数					
算式	年間入園者数					単位 人
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標	120,000				
	実績					
指標選定の理由	開園以降、継続して入園者数を把握している。須坂市動物園の特徴である「ふれあい」、「いやし」を充実させ、満足度を高めることでより一層の入園者増を図る。					
最終年度目標の根拠	過去の実績を基に算定					
指標名						
算式						単位
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 7年度 決 算	令和 8年度 予 算
事業費		103,591	105,694
特 定 財 源	国庫支出金	606	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	18,998	30,263
一般財源		84,087	75,431
人員数 (人)	正規職員	0.8	0.5
	会計年度(フル)	13.0	13.3
	会計年度(パート)	5.8	5.4
人 員 コスト	正規職員	5,762.4	3,601.5
	会計年度(フル)	60,658.0	62,057.8
	会計年度(パート)	13,641.6	12,700.8
	計	80,062.0	78,360.1
市民一人当たりの経費		3.5	3.5
総額		183,653.0	184,054.1

(単位：千円)

令和 7年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	180	写生大会審査員等謝礼179
10節 需用費	21,671	消耗品費1,487 燃料費520 印刷製本費690 光熱水費7,385 修繕料2,752 飼料費8,197 医薬材料費640
12節 委託費	3,993	施設管理1,487 保守点検211 支障木伐採673 イベント実施990 動物園グッズ作成336 その他296
14節 工事請負費	0	工事請負費0
18節 負担金補助及び交付金	270	日本動物園水族館協会負担金250 その他20
その他	77,477	会計年度任用職員人件費74,088 旅費368 役務費1,642 使用料180 原材料費525 積立金668 公課費6

(単位：千円)

令和 8年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	142	写生大会審査員謝礼等142
10節 需用費	21,118	消耗品費950 燃料費560 印刷製本費900 光熱水費6,750 修繕料2,500 飼料費8,800 医薬材料費658
12節 委託費	3,766	施設1,806 保守点検211 支障木伐採770 動物園グッズ作成496 シルバ ー人材センター292 その他191
14節 工事請負費	0	工事請負費0
18節 負担金補助及び交付金	290	日本動物園水族館協会負担金250 その他40
その他	80,378	会計年度任用職員人件費76,548 旅費352 役務費1,753 使用料711 原 材料費710 積立金304

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必 要 性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	必要不可欠
評 価 コメント	須坂市の中心となる都市公園の臥竜公園内に動物園が付随する形で併設されており、市民の憩いの場、癒しの場のより所として、動物園事業を進めるとともに、臥竜山、竜ヶ池のボート乗船及び百々川緑地と臥竜公園全体での取組に結びついている。	
有 効 性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	大変有効
評 価 コメント	須坂市動物園の特徴である「ふれあい」や「いやし」を取組むほか、根底となる動物園の動物福祉にも力を居れている。	
効 率 性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	向上
評 価 コメント	「すざかZOOおうえんし隊」で寄附金を募るとともに、一昨年、名古屋大学、中京大学ほか企業と産管学の連携となる協定を結び、自主財源確保の取組みとして「須坂市動物園オフィシャルショップ」を開設し、商品販売の一部を還元金として頂くほか、園内でガチャガチャのグッズ販売による収入やプリントシール機を設置し売上の一部を頂くことで財源確保に努めている。 また、令和8年度は入園料の改定を行うため、受益者負担増にはなるが、財源確保には結びつく。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

新たな取組として、自主財源確保に努めてはいるものの更なる確保に取組む必要がある。
臥竜公園管理事務所をはじめ、老朽化している獣舎が多いため、施設改修費が課題となっている。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
動物園の魅力向上のため、イベントの実施等工夫を凝らし、SNSやオープンデータを利用した情報発信で広く、多くの人に来てもらう管理運営が重要である。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
イベントの実施やグッズ販売により創意工夫し入園者の増加を図る。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 8 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	栗田利一
全体計画					経費区分	部局長裁量枠			内線	3530		
事務事業名		4236 まちづくり推進事業										
所 属		200200 まちづくり推進部・まちづくり課										
施 策		05032600 良好な景観づくりの推進										
予 算		01 一般会計										
科 目		080405 土木費・都市計画費・まちづくり推進費										
事 業		010000 まちづくり推進事業										
事業目的						事業概要・効果						
歴史的・文化的資産である蔵の町並みをいかした、住みよい活力あるまちづくりを推進する。						・歴史的建造物を活かしたまちづくりのため、重伝建地区の取組と連携し、「須坂市歴史的建造物」への登録及び「須坂市歴史的建造物を活かしたまちづくり事業補助金」の交付を行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 7年度 実績	令和 8年度 予定
1 歴史的建造物審査会、建造物登録、歴史的建造物を活かしたまちづくり事業補助金 2 伝建地区の選定と連携して、歴史的建造物の保存活用に取り組む	1 歴史的建造物審査会、建造物登録、歴史的建造物を活かしたまちづくり事業補助金 2 伝建地区の選定と連携して、歴史的建造物の保存活用に取り組む
令和 9年度 予定	令和10年度 予定
令和11年度 予定	令和12年度 予定

指標名	須坂市歴史的建造物の累計登録数				
算式					
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
目標値	目標	57	57	57	57
	実績	53			
指標選定の理由	歴史的建造物審査会にて、歴史的建物の維持、保存、活用のための方策等について検討し、その結果歴史的建物の活用が図られ、建物の維持にもつながるため。				
最終年度目標の根拠	歴史的建造物審査会にて、歴史的建物の維持、保存、活用のための方策を検討し、実際に活用された建物の数の累計を根拠とする。				
指標名	歴史的建物を活用した新たな施設数（累計）				
算式					
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和 7年度 決 算	令和 8年度 予 算
事業費		10,128	382
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		10,128	382
人員数 (人)	正規職員	0.4	0.2
	会計年度（フル）	0.0	0.2
	会計年度（パート）	0.0	0.2
人 員 コスト	正規職員	2,881.2	1,440.6
	会計年度（フル）	0.0	933.2
	会計年度（パート）	0.0	470.4
	計	2,881.2	2,844.2
市民一人当たりの経費		0.2	0.1
総額		13,009.2	3,226.2

(単位：千円)

令和 7年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	17	歴史的建造物審査会謝礼17
10節 需用費	83	消耗品費13、燃料費70、修繕料0
12節 委託費	0	歴史的建造物登録銘板作成0
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	10,000	歴史的建造物維持保存活用補助金10,000
その他	28	旅費6、郵便料2、手数料20、保険料0、公課費0

(単位：千円)

令和 8年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	33	歴史的建造物審査会謝礼33
10節 需用費	140	消耗品費25、燃料費70、修繕料45
12節 委託費	49	歴史的建造物登録銘板作成49
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	6	歴史的建造物を活かしたまちづくり事業補助金0、会議出席負担金6
その他	154	旅費52、郵便料1、手数料92、保険料0、公課費9

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必 要 性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	高い
評 価 コメント	重伝建地区以外の歴史的建造物を保存し、活用していくために必要な事業である。	
有 効 性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	有効
評 価 コメント	歴史的建造物を活かしたまちづくり事業補助金交や建物を登録することにより、歴史的建造物の保存・活用が図られ、文化的資産としての理解が深まっている。	
効 率 性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評 価 コメント	2025度は、建物所有者の工事の都合もあり2件の補助を行ったが、財政的に負担がかからないように、年1件ペースでの補助に努めたい。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

歴史的建造物を活かしたまちづくり事業補助金交付により、建物を修理・改修することで、歴史的建造物の保存につながり、須坂市の伝統的建物保存・活用が図られた。

歴史的建造物建物所有者の同意が得られず、歴史的建造物登録制度における登録に至らなかった物件がある。登録につなげるため、新たな物件の掘り起こしや働きかけを行っていく必要がある。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
歴史的建造物に対する補助事業を行い、保存活用取り組みを実施できた。重伝建地区以外の歴史的建物の保存・活用を進めるために有効な事業である。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
歴史的建造物に事業補助金交付し建物を修理・改修することで歴史的建造物の保存を推進する。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 8 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	栗田利一
全体計画					経費区分	部局長裁量枠			内線	3530		
事務事業名		8945 街なみ施設管理事業										
所 属		200200 まちづくり推進部・まちづくり課										
施 策		05032600 良好な景観づくりの推進										
予 算		01 一般会計										
科 目		080405 土木費・都市計画費・まちづくり推進費										
事 業		020000 街なみ施設管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
ふれあい館まゆぐらでは、県内外からの観光客や住民同士の交流が促進される。ふれあい館しらふじは、地域の活性化や観光客の誘致など新たな賑わいや交流を創出するため民間活用を行う。						街なみ環境整備事業で整備したまゆぐらを地域のまちづくりの推進協議会の団体に管理を一部委託し、観光客や市民、住民同士の交流を図る。 また、しらふじについては民間活用により、地域の活性化や観光客の誘致など新たな賑わいを創出する事業を行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 7年度 実績	令和 8年度 予定
ふれあい館まゆぐらの施設管理、企画展の開催等 しらふじの有効活用を図った。	ふれあい館まゆぐらの施設管理、企画展の開催等 しらふじの有効活用を図る。
令和 9年度 予定	令和10年度 予定
令和11年度 予定	令和12年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 7年度 決 算	令和 8年度 予 算
事業費		2,575	3,004
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	414	600
一般財源		2,161	2,404
人員数 (人)	正規職員	0.3	0.2
	会計年度(フル)	0.0	0.2
	会計年度(パート)	0.2	0.1
人 員 コスト	正規職員	2,160.9	1,440.6
	会計年度(フル)	0.0	933.2
	会計年度(パート)	470.4	235.2
	計	2,631.3	2,609.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		5,206.3	5,613.0

(単位：千円)

令和 7年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,245	消耗品費95、燃料費97、食糧費25、印刷製本費0、光熱水費299、修繕料729
12節 委託費	1,251	施設管理業務委託料1,251、シルバー人材センター委託料0
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	会議等出席負担金0
その他	79	電話料33、手数料29、使用料17、備品購入0

(単位：千円)

令和 8年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,444	消耗品費94、燃料費120、食糧費50、印刷製本費0、光熱水費380、修繕料800
12節 委託費	1,433	施設管理業務委託料1,330、シルバー人材センター委託料103
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	8	会議等出席負担金8
その他	119	電話料41、手数料56、使用料22

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	高い
評価コメント	まゆぐらは観光客や市民、住民同士の交流の場として活用されている。また、しらふじは民間活用により、地域の活性化及び観光客誘致のために必要である。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	有効
評価コメント	住民の交流及び観光客誘致に寄与している。まゆぐらについては、委託団体によるおもてなし（お茶や漬物を出している）が好評を得ている。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	2025年度は重伝建への選定による認知度の向上及び地区内の観光施設の平日休館の影響等で、まゆぐらへの観光客等の来訪者が増加したため光熱水費が増加した。施設の維持管理に係わる経費を出来る限り削減し、効率的な事業実施に努める。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

「まゆぐら」は地域の活性化や観光客の立ち寄り場所であるおもてなし施設として、「しらふじ」は民間活用による宿泊場所として、それぞれ活用されており地域の賑わいの一助となっている。

観光客等が増加し、まゆぐらの光熱水費が増加した。地区の賑わいにつながるが、反面、経費の増加にもつながるため、可能な限り経費削減に努める。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
まゆぐらでは施設管理、企画展を実施した。まゆぐら、しらふじを地域の活性化や賑わい創出につながるように活かしていくことが重要である。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
まゆぐら、しらふじは、地域の活性化や観光客の誘致など新たな賑わいや交流を創出するため重要。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 8 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	栗田利一
全体計画					経費区分	部局長裁量枠			内線	3530		
事務事業名		8307 景観事業										
所 属		200200 まちづくり推進部・まちづくり課										
施 策		05032600 良好な景観づくりの推進										
予 算		会 計		01 一般会計								
科 目		目 録		080405 土木費・都市計画費・まちづくり推進費								
事 業		業 種		030000 景観事業								
事業目的						事業概要・効果						
須坂らしい景観を市民との共創により守り育て、将来の子どもたちにより良い景観として残し伝えていく。						須坂市の良好な景観を守り育てるため、須坂市景観計画に基づき景観行政を推進する。「須坂市屋外広告物条例」による規制及び安全なものとなるよう指導の実施に努める。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 7年度 実績	令和 8年度 予定
1 景観計画に基づく事前協議・届出、指導等 2 屋外広告物条例に基づく許可申請、指導等	1 景観計画に基づく事前協議・届出、指導等 2 屋外広告物条例に基づく許可申請、指導等
令和 9年度 予定	令和10年度 予定
令和11年度 予定	令和12年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 7年度 決 算	令和 8年度 予 算
事業費		0	81
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	60
一般財源		0	21
人員数 (人)	正規職員	0.5	0.2
	会計年度(フル)	0.0	0.2
	会計年度(パート)	0.0	0.1
人 員 コスト	正規職員	3,601.5	1,440.6
	会計年度(フル)	0.0	933.2
	会計年度(パート)	0.0	235.2
	計	3,601.5	2,609.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		3,601.5	2,690.0

(単位：千円)

令和 7年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	委員報酬0、旅費0

(単位：千円)

令和 8年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	81	景観審議会委員報酬78、費用弁償3

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	高い
評価コメント	良好な景観を守り育てるため須坂市景観計画に基づき景観行政を推進し、須坂市屋外広告物条例による規制では、良好な景観や看板設置の安全性を高めるために必要な事業として取り組んでいる。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	有効
評価コメント	景観計画や屋外広告物条例により事業者及び設置者へ指導を行うことは、良好な景観を保つため有効な手段である。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	予算が景観審議会開催に伴う報酬や旅費の経費であるため、審議会開催の際は出来るだけ改正案件をまとめたうえで開催することとし、効率的な事業実施及び予算の削減に努めたい。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

計画や条例に基づく指導により、概ね良好な景観が保たれているが、申請なく建物や看板等が設置されないように景観計画や屋外広告物条例の周知に努めたい。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
景観計画と屋外広告物条例に基づく指導等を引き続き 行い、適切な景観の保全に努めていく必要がある。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
景観計画と屋外広告物条例による協議、指導を行いよ り良い景観とすることに努める。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 8 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	森
全体計画					経費区分	部局長裁量枠			内線	3252		
事務事業名		4126 ごみ減量・再資源化事業										
所 属		121000 市民環境部・生活環境課										
施 策		05032700 循環型社会の推進と地球温暖化対策										
予 算		01 一般会計										
科 目		040105 衛生費・保健衛生費・環境衛生費										
事 業		030000 ごみ減量・再資源化事業										
事業目的						事業概要・効果						
ごみの減量・リサイクルを推進し、循環型社会の形成を目指すとともに、不法投棄の防止対策をし、良好な生活環境の保全を図ります。						地球環境負荷の低減と持続可能な社会の実現を目指し、ごみの発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）の3Rを基本とした市民・事業者への啓発活動を強化し、ごみの排出量そのものの削減を図ります。 分別収集体制とリサイクルルートの確立により、資源の有効活用を促進します。 地域における美化活動の推進や監視体制の強化を通じて、廃棄物の不法投棄を未然に防止し、清潔で安全な生活環境の維持に努めます。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 7年度 実績	令和 8年度 予定
分別回収、資源物拠点回収、生ごみ堆肥化処理容器・処理機購入費補助金の交付、資源回収報奨金の交付等を実施し、ごみの減量、資源化に努める。また、不法投棄を防止するため、パトロール等を実施した。須坂市一般廃棄物処理基本計画の中間見直しを実施した。	分別回収、資源物拠点回収、生ごみ堆肥化処理容器・処理機購入費補助金の交付、資源回収報奨金の交付等を実施し、ごみの減量、資源化に努める。また、不法投棄を防止するため、パトロール等を実施する。
令和 9年度 予定	令和10年度 予定
令和11年度 予定	令和12年度 予定

指 標 名	一人一日当たりのごみの排出量				
算 式					
年 度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	737	733	730	726	722
指標選定の理由	総合計画の目標値				
最終年度目標の根拠	総合計画の目標値				
指 標 名	マイバッグの持参率				
算 式					
年 度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	80.8	81.6	82.3	83.1	83.9
指標選定の理由	総合計画の目標値				
最終年度目標の根拠	総合計画の目標値				
指 標 名					
算 式					
年 度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値					
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和 7年度 決 算	令和 8年度 予 算
事業費		54,571	56,100
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	35,638	56,100
一般財源		18,933	0
人員数 (人)	正規職員	1.4	1.3
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.9	0.9
人 員 コスト	正規職員	10,084.2	9,363.9
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	2,116.8	2,116.8
	計	12,201.0	11,480.7
市民一人当たりの経費		1.3	1.3
総額		66,772.0	67,580.7

(単位：千円)

令和 7年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	2,410	資源回収報償金2,349、謝礼60
10節 需用費	2,791	消耗品費1,206、燃料費197、印刷製本費1,388、修繕料0
12節 委託費	38,726	資源物収集25,674、資源物処理9,300、環境衛生備品作成814、環境指導業務2,005、資源物拠点収集立会等932
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,100	ごみ集積施設・設備整備補助金100、生ごみ処理機器購入費補助金1,000
その他	9,544	役務費(郵便料、手数料、保険料)2,693、公課費(自動車重量税)41、その他6,812

(単位：千円)

令和 8年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,583	資源回収報償金1,523、謝礼60
10節 需用費	2,611	消耗品費1,072、燃料費200、印刷製本費1,099、修繕料240
12節 委託費	40,980	資源物収集27,200、資源物処理委託料10,000、環境衛生備品作成委託料970、環境指導業務2,000、資源物拠点収集立会810
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,204	準中型限定解除154、ごみ集積施設・設備整備補助金300、生ごみ処理機購入費補助金750
その他	9,722	役務費(郵便料、手数料、保険料)2,889、公課費(自動車重量税)43、その他6,790

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	必要不可欠
評価コメント	廃棄物の減量と安定的な処理について衛生的な市民生活を推進するうえで必要不可欠である。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	有効
評価コメント	廃棄物の現況把握、対策に有効である。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	引き続き廃棄物の減量に努める。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

廃棄物の減量について情報収集・広報等を引き続き努めたい。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
市民生活に密接に関係することや生活環境の維持向上を図るために必要不可欠な業務であり、地球温暖化対策の面からも廃棄物の減量について積極的に取組まなければならない。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
法令に基づく市町村に課された役割を果たすため関係条例並びに個別計画に添い継続していく。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 8 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	森
全体計画					経費区分	部局長裁量枠			内線	3252		
事務事業名		4127 廃プラスチック再資源化事業										
所 属		121000 市民環境部・生活環境課										
施 策		05032700 循環型社会の推進と地球温暖化対策										
予 算		01 一般会計										
科 目		040105 衛生費・保健衛生費・環境衛生費										
事 業		040000 廃プラスチック再資源化事業										
事業目的						事業概要・効果						
プラスチック製容器包装、ペットボトル等のリサイクルを促進し、資源の有効活用を図る。						プラスチック製容器包装及びペットボトルの選別、圧縮梱包処理を行い、貴重な資源の有効活用をします。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 7年度 実績	令和 8年度 予定
プラスチック製容器包装及びペットボトルの選別、圧縮梱包処理、保管を行い、資源化を図った。 ペットボトルの水平リサイクルについて協定締結した。	プラスチック製容器包装及びペットボトルの選別、圧縮梱包処理、保管を行い、資源化を図る。
令和 9年度 予定	令和10年度 予定
令和11年度 予定	令和12年度 予定

指 標 名	一人一日あたりのごみの排出量				
算 式					
年 度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	737	733	730	726	722
指標選定の理由	総合計画の目標値				
最終年度目標の根拠	総合計画の目標値				
指 標 名					
算 式					
年 度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値					
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指 標 名					
算 式					
年 度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値					
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指 標 名					
算 式					
年 度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値					
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和 7年度 決 算	令和 8年度 予 算
事業費		58,236	66,600
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	15,408	17,471
一般財源		42,828	49,129
人員数 (人)	正規職員	1.1	1.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.5	0.5
人 員 コスト	正規職員	7,923.3	7,923.3
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	1,176.0	1,176.0
	計	9,099.3	9,099.3
市民一人当たりの経費		1.3	1.4
総額		67,335.3	75,699.3

(単位：千円)

令和 7年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	8,522	修繕料8,522
12節 委託費	49,061	有価物処理委託料551、廃プラスチック収集委託料25,278、ストックヤード管理業委託料23,232
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	653	ペットボトル売却収入負担金653
その他	0	

(単位：千円)

令和 8年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	9,200	修繕料9,200
12節 委託費	56,700	有価物処理委託料700、廃プラスチック収集委託料29,000、ストックヤード管理業委託料27,000
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	700	ペットボトル売却収入負担金700
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	必要不可欠
評価コメント	プラスチックの資源化についてはCO2の削減や海洋プラスチック問題等、資源環境を保全するうえでも必要不可欠である。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	有効
評価コメント	プラスチック製容器包装、ペットボトルの処理について安定化が図られている。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	老朽化した施設の維持管理とプラスチック循環促進法に対応した施設改修が課題である。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

・安定した処理が行われている。 ・プラスチック循環促進法に対応した施設への改修について検討を進める。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント	
老朽化しているプラスチック製容器包装及びペットボトル圧縮梱包処理施設をプラスチック循環促進法に対応した施設への改修が急務である。	

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
2次評価コメント	
関係法令に定める市町村の役割を果たすよう努める。プラ新法に対応した処理について引き続き研究をすすめる。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 8 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	高澤
全体計画						経費区分	部局長裁量枠			内線	3254	
事務事業名		4128 公衆トイレ管理事業										
所 属		121000 市民環境部・生活環境課										
施 策		05032700 循環型社会の推進と地球温暖化対策										
予 算		01 一般会計										
科 目		040105 衛生費・保健衛生費・環境衛生費										
事 業		050000 公衆トイレ管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
環境衛生施設の適正な管理により、きれいで美しい町を保全する。						使用者に快適な環境施設を提供する						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 7年度 実績	令和 8年度 予定
清掃等維持管理に努め、適切な施設管理を行なった。	清掃等維持管理に努め、適切な施設管理を行う。
令和 9年度 予定	令和10年度 予定
令和11年度 予定	令和12年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 7年度 決 算	令和 8年度 予 算
事業費		1,663	1,691
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	30	30
一般財源		1,633	1,661
人員数 (人)	正規職員	0.3	0.5
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.1	0.0
人 員 コスト	正規職員	2,160.9	3,601.5
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	235.2	0.0
	計	2,396.1	3,601.5
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		4,059.1	5,292.5

(単位：千円)

令和 7年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	4	芝宮トイレ借地謝礼4
10節 需用費	727	消耗品121、電気料344、水道料174、下水道使用料88
12節 委託費	932	清掃業務委託料932
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 8年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	4	芝宮トイレ借地謝礼4
10節 需用費	847	消耗品97、電気料390、水道料180、下水道使用料100、修繕料80
12節 委託費	840	清掃業務委託料840
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	高い
評価コメント	公衆トイレは観光および市民生活にとって必要な施設であり、その維持管理は重要。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	有効
評価コメント	多くの方が利用している。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	公衆トイレの清掃業務について、適正な事業者へ委託を依頼している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

悪戯やゴミの投棄など度々発生する。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
適切な施設管理に努め、使用者に快適な施設を提供する必要がある。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
使用者に快適な環境施設を提供することで、住環境の衛生に寄与する。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 8 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	小林
全体計画					経費区分	部局長裁量枠			内線	3254		
事務事業名		4129 狂犬病予防対策事業										
所 属		121000 市民環境部・生活環境課										
施 策		05032700 循環型社会の推進と地球温暖化対策										
予 算		01 一般会計										
科 目		040105 衛生費・保健衛生費・環境衛生費										
事 業		060000 狂犬病予防対策事業										
事業目的						事業概要・効果						
飼犬の狂犬病予防注射を確実に実施し、狂犬病の予防に努める。						犬の登録及び狂犬病予防注射業務を（一社）長野県獣医師会へ委託するなど適正な飼育犬の管理を行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 7年度 実績	令和 8年度 予定
登録頭数2,315頭 注射済票交付頭数2,211頭 注射実施会場 46会場 巡回注射実施	注射実施会場 46会場 巡回注射実施予定
令和 9年度 予定	令和10年度 予定
令和11年度 予定	令和12年度 予定

指 標 名	未注射犬						
算 式						単位	頭
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
目 標 値	目 標						
	実 績						
指標選定の理由	狂犬病の予防に努めるため。						
最終年度 目標の根拠							
指 標 名							
算 式						単位	
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
目 標 値	目 標						
	実 績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							
指 標 名							
算 式						単位	
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
目 標 値	目 標						
	実 績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和 7年度 決 算	令和 8年度 予 算
事業費		1,134	1,103
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	1,133	1,103
一般財源		1	0
人員数 (人)	正規職員	0.4	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.3	0.0
人 員 コスト	正規職員	2,881.2	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	705.6	0.0
	計	3,586.8	0.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.0
総額		4,720.8	1,103.0

(単位：千円)

令和 7年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	76	消耗品 76
12節 委託費	1,013	犬の登録管理および狂犬病予防注射業務委託料 1013
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	45	須高飼犬管理対策協議会負担金 45
その他	0	

(単位：千円)

令和 8年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	86	消耗品 86
12節 委託費	971	犬の登録管理および狂犬病予防注射業務委託料 971
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	46	須高飼犬管理対策協議会負担金 46
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	必要不可欠
評価コメント	狂犬病予防法に基づいた事業である	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	有効
評価コメント	狂犬病の予防に有効である。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	狂犬病予防注射業務を長野県獣医師会へ委託し、地域巡回による集合注射を実施した。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

j狂犬病予防注射の接種会場について来場頭数による精査が必要

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

法律に基づき継続して実施していく必要がある。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

関係法令に基づき継続が求められる。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

令和 8 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	田村
全体計画						経費区分	部局長裁量枠			内線	3252	
事務事業名		4131 温暖化防止推進事業										
所 属		121000 市民環境部・生活環境課										
施 策		05032700 循環型社会の推進と地球温暖化対策										
予 算		01 一般会計										
科 目		040105 衛生費・保健衛生費・環境衛生費										
事 業		070000 温暖化防止推進事業										
事業目的						事業概要・効果						
地球温暖化防止のため、須坂市環境基本計画の施策を推進することにより、須坂市全体の二酸化炭素排出量の削減を目指す。						須坂市環境基本計画の具体的施策である環境行動計画に掲げる事業を積極的に推進し、二酸化炭素排出量の削減を行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 7年度 実績	令和 8年度 予定
太陽光発電補助49件、蓄電池補助12件、屋根貸し事業、小水力発電参入事業者支援事業、	ペレットストーブ補助 1 件、太陽光発電補助50件、太陽熱利用補助1件、蓄電池補助30件、屋根貸し事業、小水力発電参入事業者支援事業、
令和 9年度 予定	令和10年度 予定
令和11年度 予定	令和12年度 予定

指 標 名	二酸化炭素(CO2) 削減率				
算 式	2013年度対比▲46				単位 %
年 度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標				
	実 績				
指標選定の理由	地球温暖化防止を推進するため。				
最終年度目標の根拠	第3次須坂市環境基本計画(2026中間見直し後) 2013年度比二酸化炭素排出量の▲46%				
指 標 名					
算 式					単位
年 度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標				
	実 績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指 標 名					
算 式					単位
年 度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標				
	実 績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和 7年度 決 算	令和 8年度 予 算
事業費		2,969	3,511
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	75
	地方債	0	0
	その他	77	131
一般財源		2,892	3,305
人員数 (人)	正規職員	0.5	0.6
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.6	0.3
人 員 コスト	正規職員	3,601.5	4,321.8
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	1,411.2	705.6
	計	5,012.7	5,027.4
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		7,981.7	8,538.4

(単位：千円)

令和 7年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	17	消耗品費17
12節 委託費	100	小水力発電設備通常管理委託料100
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	2,708	長野地域連携中枢都市圏負担金79 新エネルギー導入設備設置費補助金2,629
その他	144	基金積立金144

(単位：千円)

令和 8年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	56	消耗品費56
12節 委託費	100	水車保守点検業務委託料100
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	3,223	新エネルギー導入設備設置費補助金3,030、ペレットストーブ等設置導入費補助金100、長野地域連携中枢都市圏負担金93
その他	132	積立金132

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	必要不可欠
評価コメント	地球温暖化防止という喫緊の課題に対し、須坂市全体の二酸化炭素排出量を削減するものであり、市民生活や将来世代の環境保全に不可欠である。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	有効
評価コメント	太陽光発電や蓄電池導入への補助、小水力発電支援など、具体的な再生可能エネルギー普及策を推進することで、CO2排出量削減目標の達成に直接寄与し、高い有効性が期待できる。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	地球温暖化防止という目的を達成するため、現行の補助水準や事業体制を維持する必要がある、成果を落とさずにコストを削減することは困難である。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

新エネルギーへの補助やデコ活等の啓発をおこなうことにより温暖化防止対策を推進した。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
地球温暖化防止対策推進のため事業内容の精査、実施事業の検討が必要。 ペレットストーブ設置に対する県補助金が2026年度で終了することから今後について検討が必要。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
関係法令に定める責務に基づき、施策を継続する。施策展開については、関係条例や行動計画の方針に基づき、実情に添い施策を見直しも含め展開していく必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 8 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	森
全体計画					経費区分	部局長裁量枠			内線	3252		
事務事業名		4132 し尿処理施設運営事業										
所 属		121000 市民環境部・生活環境課										
施 策		05032700 循環型社会の推進と地球温暖化対策										
予 算		01 一般会計										
科 目		040105 衛生費・保健衛生費・環境衛生費										
事 業		080000 し尿処理施設運営事業										
事業目的						事業概要・効果						
須高行政事務組合で運営するし尿処理施設（須高衛生センター）の維持管理費用を負担する。 （運営主体：須高行政事務組合）						適切なし尿処理のため前処理・希釈下水道放流施設の効率的な運用を図り、計画的な機器整備により機能維持を図る。機器設備の保守管理等により、下水道放流基準を満たす希釈量の管理を行う。 （運営主体：須高行政事務組合）						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 7年度 実績	令和 8年度 予定
し尿及び浄化槽汚泥について適正に処理した。	し尿及び浄化槽汚泥について適正に処理する。
令和 9年度 予定	令和10年度 予定
令和11年度 予定	令和12年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 7年度 決 算	令和 8年度 予 算
事業費		62,763	53,203
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		62,763	53,203
人員数 (人)	正規職員	0.1	0.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	720.3	720.3
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	720.3	720.3
市民一人当たりの経費		1.2	1.0
総額		63,483.3	53,923.3

(単位：千円)

令和 7年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	62,763	須高行政事務組合清掃負担金62,763
その他	0	

(単位：千円)

令和 8年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	53,203	須高行政事務組合清掃負担金53,203
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	必要不可欠
評価コメント	市民が衛生的で安全な生活を営むうえで、必要不可欠である。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	有効
評価コメント	安定した処理が行われている。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	須高行政事務組合の構成市として他市町村と連携し対応した。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

構成市として須高行政事務組合と連携し、引き続き安定した処理を行う必要がある。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
構成市として須高行政事務組合と連携し、引き続き安定した処理を行っていただく必要がある。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
廃棄物処理法に基づく責務から処理が必要で、一部事務組合を構成し実施している。処理施設を有しており継続が適当。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 8 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	森井
全体計画					経費区分	部局長裁量枠			内線	3254		
事務事業名		4133 火葬場施設運営事業										
所 属		121000 市民環境部・生活環境課										
施 策		05032700 循環型社会の推進と地球温暖化対策										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	040105 衛生費・保健衛生費・環境衛生費										
	事業	090000 火葬場施設運営事業										
事業目的						事業概要・効果						
遺体の尊厳を重視し、人生の終焉の場として心安らぐ火葬を行うことを事業の目的として運営している。 （運営主体：須高行政事務組合）						故人の最後にふさわしい火葬業務が行えるよう施設の維持管理を図る。平成17年度より稼働している火葬炉設備について、修理、補修を行いながら機能維持を図る。 （運営主体：須高行政事務組合）						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 7年度 実績	令和 8年度 予定
人生の終焉の場として心安らぐ火葬を行うための費用負担を行なった。	人生の終焉の場として心安らぐ火葬を行うための費用負担を行う。
令和 9年度 予定	令和10年度 予定
令和11年度 予定	令和12年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 7年度 決 算	令和 8年度 予 算
事業費		16,481	18,204
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		16,481	18,204
人員数 (人)	正規職員	0.1	0.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	720.3	720.3
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	720.3	720.3
市民一人当たりの経費		0.3	0.4
総額		17,201.3	18,924.3

(単位：千円)

令和 7年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	16,481	須高行政事務組合火葬場費負担金 16,481
その他	0	

(単位：千円)

令和 8年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	18,204	須高行政事務組合火葬場費負担金 18,204
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	必要不可欠
評価コメント	人生の終焉の場として心安らぐ火葬を行う火葬場は、市民が安心して生活していくうえで必要不可欠な事業である。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	有効
評価コメント	人生の終焉の場として、心安らぐ火葬を行っている。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	構成市町村と負担金を分担している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

須高行政事務組合構成市町村と負担金を分担し、安定的に事業を継続している。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
構成市として須高行政事務組合と連携し、引き続き運営していただく必要がある。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
一部事務組合で施設を共同設置している。安定運営のため継続が必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 8 年度 行政評価事業別シート

実計対象		■	評価対象	■	新規	□	完了事業	□	ゼロ予算事業	□	担当者	田村、森
全体計画		平成21年度 ~ 令和11年度			経費区分		実施計画事業費			内線		3254, 3252
事務事業名		4134 広域ごみ処理推進事業										
所 属		121000 市民環境部・生活環境課										
施 策		05032700 循環型社会の推進と地球温暖化対策										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	040105 衛生費・保健衛生費・環境衛生費										
	事業	100000 広域ごみ処理推進事業										
事業目的						事業概要・効果						
衛生的な市民生活を維持するため、長野広域連合によるごみ処理広域化基本計画を推進する。						長野広域連合が行う可燃ごみの広域化処理事業を推進する。須坂市では令和3年2月に一般廃棄物最終処分場(エコパーク須坂)が埋め立てを開始。地元との協定に基づく周辺環境整備及び地元振興事業を進める。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 7年度 実績	令和 8年度 予定
地元振興事業の実施。	地元振興事業の実施。 長野広域連合による次期最終処分場の候補地決定。
令和 9年度 予定	令和10年度 予定
令和11年度 予定	令和12年度 予定

指 標 名	無し				
算 式					
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
目 標 値	目 標				
	実 績				
指標選定の理由	ごみ処理施設の整備は、地元住民との度重なる協議の結果であり、年度ごとの達成状況は事業の性質になじまない。				
最終年度					
目標の根拠					
指 標 名					
算 式					
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
目 標 値	目 標				
	実 績				
指標選定の理由					
最終年度					
目標の根拠					
指 標 名					
算 式					
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
目 標 値	目 標				
	実 績				
指標選定の理由					
最終年度					
目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和 7年度 決 算	令和 8年度 予 算
事業費		336,040	287,066
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	295,563	73,312
一般財源		40,477	213,754
人員数 (人)	正規職員	0.9	0.6
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	6,482.7	4,321.8
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	6,482.7	4,321.8
市民一人当たりの経費		6.5	5.6
総額		342,522.7	291,387.8

(単位：千円)

令和 7年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	報奨金0
10節 需用費	0	消耗品費0、燃料費0、食糧費0
12節 委託費	0	視察運行業務委託料0
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	336,040	長野広域連合環境推進費負担金258,550、地域振興交付金5,000、地域振興事業補助金72,490
その他	0	郵便料0、借上料0

(単位：千円)

令和 8年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	287,066	長野広域連合環境推進費負担金276,066、地域振興交付金5,000、地域振興事業補助金6,000
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	必要不可欠
評価コメント	・循環型社会形成推進のため、長野広域連合ごみ処理広域化基本計画に基づき、構成市町村が主体的に取り組む必要がある。 ・一般廃棄物最終処分場建設に係る地元振興事業等に関する協定により、市が主体的に地元振興事業を実施する必要がある。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	大変有効
評価コメント	・可燃ごみ処理の高度化、安定化が図られている。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	・長野広域連合として、構成市町村が協働して検討する課題である。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

構成市として、長野広域連合と連携しつつ、地元振興事業を推進・実施することができた。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
広域ごみ処理行政の推進のため、長野広域連合と仁礼町区の調整が適正であった。今後も、継続した調整、支援が必要である。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
廃棄物処理法に基づく一般廃棄物処理は市町村の責務。広域共同処理によりより安定・より安全な処理を継続しておこなう必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 8 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	田村
全体計画					経費区分	部局長裁量枠			内線	3252		
事務事業名		4135 環境対策事業										
所 属		121000 市民環境部・生活環境課										
施 策		05032700 循環型社会の推進と地球温暖化対策										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	040106 衛生費・保健衛生費・公害対策費										
	事業	010000 環境対策事業										
事業目的						事業概要・効果						
市民の生活環境保全のため、河川水質調査や環境保全パトロール等を実施し、また、各種苦情の早期解決に努める。騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法などに基づく規制基準の遵守のため指導及び改善勧告等、必要な措置を行い公害の防止に努める。						河川の水質調査や地域環境保全巡回パトロールを行い、現状の把握や水質汚濁防止等に努める。騒音防止法、振動防止法、悪臭防止法に基づく指導等により、公害防止に努める。地下水の適正な運用・管理を行うため、適正な許可及び情報収集等に努める						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 7年度 実績	令和 8年度 予定
河川の水質調査、公害苦情等の処理、騒音規制法・振動規制法・悪臭防止法による指導、特定外来生物の駆除、空間放射線量の定点測定、自動車騒音常時監視及び面的評価業務自動車騒音常時監視及び面的評価業務等、環境基本計画改定	河川の水質調査、公害苦情等の処理、騒音規制法・振動規制法・悪臭防止法による指導、特定外来生物の駆除、空間放射線量の定点測定、自動車騒音常時監視及び面的評価業務自動車騒音常時監視及び面的評価業務等
令和 9年度 予定	令和10年度 予定
令和11年度 予定	令和12年度 予定

指 標 名	主要河川BOD値の改善				
算 式	市内主要7河川の観測地点のうち、目標基準（2.0mg/ℓ）以下を満たしている割合				単位
年 度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標				
	実 績				
指標選定の理由	第3次須坂市環境基本計画に基づき設定				
最終年度目標の根拠	市内主要7河川の観測地点において、すべて基準目標を下回ること。				
指 標 名					
算 式					単位
年 度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標				
	実 績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指 標 名					
算 式					単位
年 度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標				
	実 績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和 7年度 決 算	令和 8年度 予 算
事業費		11,846	10,598
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		11,846	10,598
人員数 (人)	正規職員	0.8	0.8
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.8	0.3
人 員 コスト	正規職員	5,762.4	5,762.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	1,881.6	705.6
	計	7,644.0	6,468.0
市民一人当たりの経費		0.4	0.3
総額		19,490.0	17,066.0

(単位：千円)

令和 7年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	12	講師謝礼12
10節 需用費	45	燃料費45
12節 委託費	5,125	水質検査委託757、悪臭調査委託料286、騒音調査委託料2,102、地下水管 理支援業務委託料1,980
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	20	高山植物等保護対策協議会負担金5、国立公園都市協議会負担金15
その他	6,644	報酬・手当5,604、共済費934、旅費79、役務費27

(単位：千円)

令和 8年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	16	講師謝礼16
10節 需用費	27	消耗品費7、燃料費20
12節 委託費	6,481	水質委託1,386、悪臭委託料286、騒音調査委託料2,400、振動委託料330、地下水管理支援業務1,980、土壌委託料99
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	20	高山植物等保護対策協議会負担金5、国立公園都市協議会負担金15
その他	4,054	報酬2,499、職員手当等883、共済費607、役務費38、旅費27

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	必要不可欠
評価コメント	水質汚濁、騒音、悪臭など多岐にわたる公害から市民生活を守り、法令に基づき良好な生活環境を維持するために不可欠である。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	大変有効
評価コメント	河川調査や法令指導、苦情対応などにより、環境問題の早期発見・解決を図り、市民の健康と安全を確保する上で高い実効性が期待できる。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	水質、騒音などの公害調査については専門機関での実施が必要であり、成果を維持しつつコスト削減は困難である。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

河川の水質調査等を行い、現況の把握や水質汚濁防止等を図った。また、騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法に基づく指導等により、公害防止を図ることができた。幅広い環境問題の発生に対し、事業内容を常に最新の状態に保ち、職員の専門性を維持・向上させることが継続的な課題である。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
環境は広圏に及ぶため、法令や目的に沿った業務の執行している。引き続き適正な実施が必要である。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
法令に基づいた事務執行をおこなうため継続。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 8 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	森井、高澤
全体計画					経費区分	部局長裁量枠			内線	3254		
事務事業名		4137 霊園管理事業										
所 属		121000 市民環境部・生活環境課										
施 策		05032700 循環型社会の推進と地球温暖化対策										
予 算		01 一般会計										
科 目		040107 衛生費・保健衛生費・霊園管理費										
事 業		010000 霊園管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
市営霊園の維持管理 霊園管理料の確実な徴収						安息の場にふさわしい霊園とするため、常に使用者の 利便性の向上を図る。 霊園管理料の確実な徴収に努める						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 7年度 実績	令和 8年度 予定
霊園施設の維持管理清掃、修繕等を行なった。	霊園施設の維持管理清掃、修繕等を行う。
令和 9年度 予定	令和10年度 予定
令和11年度 予定	令和12年度 予定

指 標 名	霊園管理料収入未済額					
算 式						単位 円
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由	滞納整理対策チャレンジプラン					
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 7年度 決 算	令和 8年度 予 算
事業費		10,827	12,526
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	10,827	12,526
一般財源		0	0
人員数 (人)	正規職員	1.2	1.5
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.3	0.0
人 員 コスト	正規職員	8,643.6	10,804.5
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	705.6	0.0
	計	9,349.2	10,804.5
市民一人当たりの経費		0.4	0.4
総額		20,176.2	23,330.5

(単位：千円)

令和 7年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	12	坂田霊園・松川霊園臨時駐車場借地謝礼12
10節 需用費	918	消耗品121、燃料費39、電気料221、水道料197、下水道使用料76、修繕料264
12節 委託費	5,572	電算委託料517、駐車場警備774、支障木伐採418、除草等業務委託料218、霊園管理・ごみ収集業務3,645
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	4,325	郵便料247、システム使用料356、手数料267、人件費3,455

(単位：千円)

令和 8年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	12	坂田霊園臨時駐車場借地謝礼12
10節 需用費	1,117	消耗品97、燃料費90、電気料290、水道料230、下水道使用料90、修繕料320
12節 委託費	6,466	電算委託料707、駐車場警備848、支障木伐採660、霊園管理・ごみ収集業務3,383、除草218、生垣剪定650
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	4,931	郵便料250、システム使用料357、手数料300、人件費4,024

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	- 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか - 行政内部の管理運営上必要な事業であるか - 市が主体となり実施すべき事業か - 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか - 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	必要不可欠
評価コメント	公的霊園は地域住民にとって不可欠な公共インフラとしての役割を担っている。	
有効性	- 事業の成果は上がっているか - 目標に対する達成度は十分か - 市民生活上の課題解決に貢献しているか - 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか - 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	大変有効
評価コメント	合葬式墓地は多様化する埋葬ニーズに応える一つの選択肢として非常に有効である。	
効率性	- 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか - 効率性向上に努めているか - 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	一般区画の空き区画の使用者募集を計画的に行っている（第一次募集 5月、第二次募集 6月～11月）。松川霊園第二の合葬式墓地の募集を通年行った。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

墓じまいによる空き区画の増加。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
霊園管理料の確実な徴収と老朽化した施設の維持管理について優先順位等を付けるなどして検討していく必要がある。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
空き区画は見散見され始めてはいるが、多死社会を迎え継続が必要。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 8 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	中澤 和久
全体計画					経費区分	部局長裁量枠			内線	246-9000		
事務事業名		4139 ごみ収集事業										
所 属		121000 市民環境部・生活環境課										
施 策		05032700 循環型社会の推進と地球温暖化対策										
予 算		01 一般会計										
科 目		040201 衛生費・清掃費・清掃総務費										
事 業		010000 ごみ収集事業										
事業目的						事業概要・効果						
計画的で迅速なごみの収集、運搬を正確に行うことにより、清潔で衛生的な市民生活を構築する。						市内ごみステーションに排出された可燃ごみ、不燃ごみ等について、計画的、適切な収集運搬を行う。 町別粗大ごみ収集において排出された粗大ごみ、蛍光管の収集運搬を行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 7年度 実績	令和 8年度 予定
計画的で迅速なごみの収集、運搬を適正に行った。	計画的で迅速なごみの収集、運搬を適正に行う。
令和 9年度 予定	令和10年度 予定
令和11年度 予定	令和12年度 予定

指 標 名	内部管理業務のため指標の設定が困難である。					
算 式						単位
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 7年度 決 算	令和 8年度 予 算
事業費		95,521	105,090
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		95,521	105,090
人員数 (人)	正規職員	0.5	0.5
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	3,601.5	3,601.5
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	3,601.5	3,601.5
市民一人当たりの経費		1.9	2.1
総額		99,122.5	108,691.5

(単位：千円)

令和 7年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	112	消耗品費112
12節 委託費	95,409	可燃ごみ等収集委託料73,094、不燃ごみ収集委託料5,148、峰の原高原ごみ収集委託料3,564、側溝清掃土砂収集委託料3,157、他10,446
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 8年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	90	消耗品費90
12節 委託費	105,000	可燃ごみ等収集委託料76,112、不燃ごみ収集委託料7,524、峰の原高原ごみ収集委託料5,338、側溝清掃土砂収集委託料4,840、他11,186
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	必要不可欠
評価コメント	ごみ処理を実施していくうえで、必要不可欠な事業である。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	有効
評価コメント	適正なごみ処理が継続して実施され、必要かつ有効である。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	電気、ガス、灯油など使用について節約するなど、施設の維持管理にあたり経費の節減に努めた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

適正なごみ処理の受付や処理が行われるよう、施設の維持管理、車両の点検など実施した。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
廃棄物処理は市民生活に密接に関わる重要な業務であることから、収集業務が滞ることのないよう、安定的かつ継続的な収集体制の確保に努める必要がある。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
廃棄物処理法に基づく市町村の責務。安定的かつ継続的な収集体制の確保に継続して努める必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 8 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	中澤 和久
全体計画					経費区分	部局長裁量枠			内線	246-9000		
事務事業名		4141 ごみ処理施設管理事業										
所 属		121000 市民環境部・生活環境課										
施 策		05032700 循環型社会の推進と地球温暖化対策										
予 算		01 一般会計										
科 目		040202 衛生費・清掃費・清掃センター費										
事 業		020000 ごみ処理施設管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
廃棄物処理を安全かつ適切に行うため、施設及び車両等の適正な管理を行う。						設備の各種操作や処理不適物の除去などを適切に行い、施設の安全な維持管理を図る。また、搬入する市民に丁寧な分別指導を随時行い、施設への負担軽減を図る。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 7年度 実績	令和 8年度 予定
清掃センター及び埋立地の適正な管理	清掃センター及び埋立地の適正な管理
令和 9年度 予定	令和10年度 予定
令和11年度 予定	令和12年度 予定

指標名	内部管理業務のため指標の設定が困難である。					
算式						単位
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 7年度 決 算	令和 8年度 予 算
事業費		2,307	2,306
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	1
一般財源		2,307	2,305
人員数 (人)	正規職員	0.4	0.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	2,881.2	2,881.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	2,881.2	2,881.2
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		5,188.2	5,187.2

(単位：千円)

令和 7年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	2	謝礼2
10節 需用費	474	消耗品費148、燃料費179、光熱水費(ガス料)48、修繕料90、医薬材料費9
12節 委託費	63	事務機器保守点検委託料63
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	14	会議等出席負担金13
その他	1,754	旅費3、郵便料8、電話料112、手数料818、保険料18、機器賃借料247、受信料13、備品購入費438、自動車重量税29、汚染負荷量賦課金70

(単位：千円)

令和 8年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	2	謝礼2
10節 需用費	436	消耗品費68、燃料費180、光熱水費（ガス料）80、修繕料100、医薬材料費8
12節 委託費	137	事務機器保守点検委託料66、支障木伐採委託料71
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	32	会議等出席負担金32
その他	1,699	郵便料8、電話料123、手数料960、保険料45、機器賃借料347、その他216

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	必要不可欠
評価コメント	ごみ処理を実施していくうえで、必要不可欠な事業である。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	有効
評価コメント	適正なごみ処理が継続して実施され、必要かつ有効である、	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	電気、ガス、灯油などの使用について節約するなど、施設の維持にあたり経費の節減に努めた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

適正なごみ処理の受付や処理が行われるよう、施設の維持管理、車両点検などを実施した。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
廃棄物処理は市民生活に密接に関わる事業であるため、安定した稼働を確保するには、施設および業務全体を見通した管理が必要である。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
廃棄物処理法に基づく市町村の責務であり、持続可能性を考慮しながら継続していく必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 8 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	中澤 和久
全体計画					経費区分	部局長裁量枠			内線	246-9000		
事務事業名		4142 ごみ処理施設運営事業										
所 属		121000 市民環境部・生活環境課										
施 策		05032700 循環型社会の推進と地球温暖化対策										
予 算		01 一般会計										
科 目		040202 衛生費・清掃費・清掃センター費										
事 業		030000 ごみ処理施設運営事業										
事業目的						事業概要・効果						
市内から排出された一般廃棄物の適正処理及び管理を行い、健康且つ清潔で衛生的な市民生活の確保を図る。また、廃棄物のリサイクルを推進し、循環型社会の形成を促進する。						不燃ごみの適正処理及び資源物を分別リサイクルし、循環型社会の形成を促進する。また、老朽化した不燃ごみ処理施設等の必要な修繕等を実施し、安全で適正なごみ処理を行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 7年度 実績	令和 8年度 予定
ごみ処理施設及び粗大ごみ等処理施設の適正な運転管理を行い、安全かつ安定したごみ処理を行った。	ごみ処理施設及び粗大ごみ等処理施設の適正な運転管理を行い、安全かつ安定したごみ処理を行う。
令和 9年度 予定	令和10年度 予定
令和11年度 予定	令和12年度 予定

指標名	客観性のある安定した指標が困難である。					
算式						単位
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 7年度 決 算	令和 8年度 予 算
事業費		69,819	64,168
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	34,722	1,344
一般財源		35,097	62,824
人員数 (人)	正規職員	1.6	1.6
	会計年度(フル)	4.0	4.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	11,524.8	11,524.8
	会計年度(フル)	18,664.0	18,664.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	30,188.8	30,188.8
市民一人当たりの経費		1.9	1.8
総額		100,007.8	94,356.8

(単位：千円)

令和 7年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	28,884	消耗品費3,290、燃料費463、電気料3,496、修繕料21,635
12節 委託費	11,633	使用済み乾電池運搬処理1,250、小型家電収集運搬2,597、不燃残渣物等収集運搬2,177、河川水等測定1,059、精密機能検査3,960、その他590
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	29,302	給料13,650、職員手当等5,770、共済費4,044、手数料491、土地借上料5,163、原材料費184

(単位：千円)

令和 8年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	23,775	消耗品費13,900、燃料費550、印刷製本費55、電気料4,500、修繕料4,770
12節 委託費	10,575	使用済み乾電池運搬処理2,370、小型家電収集運搬3,000、不燃残渣物等収集運搬2,800、河川水等測定業務1,200、その他1,205
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	29,818	給料13,872、職員手当等5,981、共済費3,981、手数料671、土地借上料5,163、原材料費150

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	必要不可欠
評価コメント	ごみ処理を実施していくうえで、必要不可欠な事業である。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	有効
評価コメント	適正なごみ処理が継続して実施され、必要かつ有効である。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	燃料費や電気料などを節約し、施設維持にあたり経費の節減に努めた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

老朽化する施設、設備の維持管理のため、日常的な保守点検や必要な修繕を引き続き実施する。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
廃棄物処理は市民生活に密接に関わる重要な事業であることから、安定した稼働を確保するため、計画的な修繕の実施及び業務全体の適切な管理を行う必要がある。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
廃棄物処理法に基づく市町村の責務を果たすため、継続していく必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 8 年度 行政評価事業別シート

実計対象		■	評価対象	■	新規	□	完了事業	□	ゼロ予算事業	□	担当者	中澤 和久
全体計画						経費区分	実施計画事業費		内線		246-9000	
事務事業名		17154 ごみ処理施設整備事業										
所 属		121000 市民環境部・生活環境課										
施 策		05032700 循環型社会の推進と地球温暖化対策										
予 算		会 計		01 一般会計								
科 目		科 目		040202 衛生費・清掃費・清掃センター費								
事 業		事 業		980000 ごみ処理施設整備事業								
事業目的						事業概要・効果						
指定緊急避難場所の整備及び作業所兼粗大ごみ仮置き場の整備						廃止した焼却施設の解体跡地に災害時における指定緊急避難場所を整備及び作業所兼粗大ごみ仮置き場の整備						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 7年度 実績	令和 8年度 予定
指定緊急避難場所の設置(事業の先送り) 作業所兼粗大ごみ仮置き場の設計(事業の先送り)	
令和 9年度 予定	令和10年度 予定
令和11年度 予定	令和12年度 予定

指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 7年度 決 算	令和 8年度 予 算
事業費		0	0
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		0	0
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.0	0.0
総額		0.0	0.0

(単位：千円)

令和 7年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	測量設計業務委託料 0
14節 工事請負費	0	指定緊急避難場所整備工事 0
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	手数料 0

(単位：千円)

令和 8年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	必要不可欠
評価コメント	災害時における指定緊急避難場所整備のため必要不可欠。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	有効
評価コメント	災害時における緊急避難場所が不足しているため有効。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	緊急防災・減災事業債を活用した施設整備を計画。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

指定緊急避難場所整備事業及び作業所兼粗大ごみ仮置き場の設計業務委託について、2025年度(令和7年度)事業として計画したが、事業の見直しに伴いごみ処施設整備事業は先送りとなり、当初予算の全額が減額となった。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
総合評価コメント	
指定緊急避難場所整備は事業規模を縮小して実施する方針であるが、実施時期は緊防債の動向を踏まえ再検討するため、査定とする。各年度の修繕料は、緊急性を考慮して査定する。	

2次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
2次評価コメント	
財政健全化実行宣言中であり、指定緊急避難場所整備の実施時期については、動向を踏まえ再検討する。修繕については、緊急性を考慮していく。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	